

「(仮称)町田市いきいき長寿プラン 27-29」策定に向けた各種調査の実施について

次期計画となる「(仮称)町田市いきいき長寿プラン 27-29」の策定に向けて、高齢者やその家族、介護保険サービス事業者の課題やニーズを把握するため、下記のとおり意識調査を実施いたします。

背景

- 2040年に向けて生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれる中、国の社会保障審議会介護保険部会では次期介護保険制度改正に向けて、「2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会を設置し、「人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制の構築や支援体制」、「介護人材確保と職場環境改善・生産性向上、経営支援」、「地域包括ケアとその体制確保のための医療介護連携、介護予防・健康づくり、認知症ケア」等について審議が行われています。
- 町田市においては「町田市いきいき長寿プラン 24-26」の目的でもある「高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられること」、「持続可能な介護保険制度を運営すること」を次期計画においても実現するために、次期計画における施策検討に向けて、市内高齢者や市内介護事業者の現状や課題、意見等を把握する必要があります。

目的

- 「町田市いきいき長寿プラン 24-26」に基づき推進している各取組みの進捗評価を行います。
- 「(仮称)町田市いきいき長寿プラン 27-29」の施策の方向性や事業の検討に活用します。
- 高齢者の介護リスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定します。また、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用します。

調査種別

対象に応じて以下の 4 種類の調査を実施します。

【高齢者を対象とした調査】

- (1)健康とくらしの調査
- (2)市民ニーズ調査
- (3)在宅介護実態調査

【事業所を対象とした調査】

- (4)事業所調査

※今後、介護保険事業計画作成に向けた各種調査等に関する厚生労働省の説明会にて示される調査項目や方法に係る詳細等により変更となる場合があります。

(1)健康とくらしの調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査概要

- 調査手法:郵送調査
- 実施時期:2025 年 10 月下旬
- 調査対象:一般高齢者、要支援 1・2、事業対象者 計 8,000 人

調査項目

○現在、調査項目については精査中ですが、概ね 2022 年度の前回調査時と同項目を調査予定です。

分析方法

- 健康状況や生活状況、地域での活動状況等について、日常生活圏域ごとに傾向を把握し、地域診断に活用します。
- 2022 年度に実施した前回調査との比較分析を行います。
- 介護予防やフレイルリスク等と関連付けた分析を行います。

<2022 年度調査項目>

調査項目は、国が示す必須項目等を含む委託事業者(日本老年学的評価研究機構)が指定する項目と、市が指定する独自項目から構成されます。

コア

身体状況 健康状態	生活習慣 罹患 保健行動 BMI 転倒状況
心理	うつ 幸福度
社会	ソーシャル・ネットワーク ソーシャル・サポート
社会経済的地位	年間世帯所得 世帯人数 教育 就職(最長職) 年金 生活保護
会・グループ への参加	ボランティア スポーツ 老人クラブ 町内会・自治会 他
地域環境	(地域に対する)信頼 互酬性 治安 祭り 近所付き合い
外出	外出頻度 交通手段

バージョン(サブコア①、②は下表参照)

A	サブコア①、地域資源、周囲の支援、認知症、救急車利用・AI・コロナ、文字読み行動について
B	サブコア②、看取り、かかりつけ医、医療受診、服薬について
C	サブコア①、災害、コロナ流行後の生活、通いの場について
D	サブコア①、口腔ケア、食欲、タバコについて
E	サブコア②、地域と住宅、日常生活、暴力、ジェンダー規範、食事内容について
F	サブコア②、住宅環境、生活範囲、転居、シルバーパスについて
G	サブコア②、運動の実施状況、スポーツ観戦、楽観性、笑いについて
H	サブコア①、身体の痛み、健康状態、身長の縮み、日常生活活動について

サブコ ア①	身体状況	新型コロナウイルス感染症、目や耳の状態
	健康状態	
	介護	頻度・時間
サブコ ア②	心理	human flourishing
	経済	15歳時の社会経済的地位
	会・グループへの参加	趣味・おけいこ事
	外出	買い物の頻度・手段
	社会	1年間に起こったこと、インターネットの使用、連絡手段と機会
	地域	地域の環境、信頼、人付き合い

町田市独自項目

あなたの生活	外出を控える要因、情報収集手段
高齢者へのサービスや町田市の取り組み	支援センター認知度、在宅療養のニーズ・不安
お住いの地域	地域での役割、フレイル認知度、生活支援ニーズ認知症の取組認知度

(2)市民ニーズ調査

調査概要

○調査手法:郵送調査

○実施時期:2025 年 11 月

○調査対象:要介護 1～5 の市民 4,800 人 (12 の日常生活圏域ごとに 400 人)
特養待機者 400 人

調査項目

○現在、調査項目については精査中ですが、概ね 2022 年度の前回調査時と同項目を調査予定です。

分析方法

○生活の状況や介護保険サービスの利用状況等について、属性(年齢、性別、日常生活圏域、高齢者支援センター区域、世帯類型等)ごとの分析を行います。

○2022 年度に実施した前回調査との比較分析を行います。

○同時期に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」や「在宅介護実態調査」と関連付けた分析を行います。

<2022 年度調査項目>

大分類	設問数	主な設問内容
あなたとご家族や、お住まい等	8	調査対象者の性別・年齢・同居者・居住地域、生活の拠点、住まいの所有状況と建物の種類、住み替え意向など
お身体や介護・介助の状況、生活の状況	13	要介護度、介護・介助が必要になった原因、主な介助者との関係、サービス満足度、世帯の複合的課題など
物忘れ	7	認知機能低下リスク判定、相談窓口認知度、市の取組みの認知度など
在宅療養	3	在宅療養の希望有無、在宅療養への不安、訪問診療利用状況
災害時の対応	3	避難計画の策定状況、自力での避難の可否など
介護保険サービス	4	利用しているサービスとその満足度、介護ののぞましい形など
高齢者支援センター	2	高齢者支援センターの認知度・所在地認知度、虐待相談先認知度
地域包括ケアシステムの考え方	2	地域包括ケアシステム実現のため重要だと思うこと、高齢者施策等へのご意見・ご要望
特別養護老人ホームの入所待機	5	入所希望理由、入所通知が到達した場合の対応(特養待機者のみ対象の設問)
合計設問数	47	※「要介護 1～5 の市民」は計 42 問

(3)在宅介護実態調査

調査概要

- 調査手法:介護支援専門員による認定調査時の聞き取り調査
- 実施時期:2025 年 9 月～12 月
- 調査対象:実施期間中に要支援・要介護認定調査(区分変更・更新)を受ける在宅生活者 640 人

調査項目

- 2022 年度の前回調査時と同項目を調査予定です。(※全項目国指定調査)

分析方法

- 調査対象者の認定調査情報(要介護・支援度、サービス利用状況、日常生活自立度等)と関連付けし、本人やその介護者に関する客観的データをもとに分析します。
- 2022 年度に実施した前回調査との比較分析を行います。

<2022 年度調査項目>

A票 設問 __ 認定調査員が、概況調査等と並行して記入する項目	B票 設問 __ 主な介護者、もしくはご本人が回答・記入する項目
聞き取りを行った相手	問 1 主な介護者の勤務形態
問 1 世帯類型	問 2 主な介護者の働き方の調整の有無
問 2 家族や親族による介護の頻度	問 3 仕事と介護の両立のために効果的と思う職場の支援
問 3 主な介護者	問 4 仕事と介護の両立の可否
問 4 主な介護者の性別	問 5 主な介護者が不安に感じる介護
問 5 主な介護者の年齢	
問 6 主な介護者が行っている介護	
問 7 過去 1 年間の介護離職の有無	
問 8 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況	
問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	
問 10 施設等への入所・入居の検討状況	
問 11 現在抱えている傷病	
問 12 訪問診療の利用状況	
問 13 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況	
問 14 介護保険サービスを利用していない理由	

(4)事業所調査

調査概要

- 調査手法:Web 調査
- 実施時期:2025 年 11 月
- 調査対象:全市内介護保険事業所(裏面「調査事業所一覧」参照)

調査項目

- 現在、調査項目については精査中ですが、概ね 2022 年度の前回調査時と同項目を調査予定です。

分析方法

- 市内の介護保険事業所が抱える課題や意見について、サービス種別や圏域ごとの分析を行います。
- 2022 年度に実施した前回調査との比較分析を行います。

<2022 年度調査項目>

分類	設問数	主な設問内容
1 事業所について	4	所在地、組織形態、サービス種別
2 利用者の状況	8	定員、利用者数(利用率)、入所者確保の状況
3 在宅サービスについて	12	サービス種別の利用や紹介状況
4 事業運営について	5	決算状況、事業運営課題、今後の事業展開
5 総合事業の実施状況	6	実施の有無、今後の事業展開
6 人材の確保・育成・定着	11	職員採用・離職状況、職員確保・育成・定着の取組み等
7 地域包括ケアシステム	5	医療機関との連携状況
8 運営に関する基準への取組み	6	各種研修の実施状況、BCP策定状況
9 町田市への要望等	2	町田市に対して望むこと
合計設問数	59 問	

<調査事業所一覧(2025 年 6 月現在)>

サービス種別	計	サービス種別	計
居宅介護支援	103	介護老人保健施設	6
訪問介護	97	介護医療院	1
訪問入浴介護	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5
訪問看護	78	認知症対応型通所介護	17
訪問リハビリテーション	11	小規模多機能型居宅介護	5
通所介護 ※総合事業の通所型サービス (一体型)含む	75	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	1
通所リハビリテーション	16	看護小規模多機能型居宅介護	3
短期入所生活介護	25	認知症対応型共同生活介護	25
短期入所療養介護	6	地域密着型通所介護 ※総合事業の通所 型サービス(一体型)含む	55
特定施設入居者生活介護	37	夜間対応型訪問介護	1
福祉用具貸与	16	介護予防支援 ※高齢者支援センター含む	16
特定福祉用具販売	15	合計	640
介護老人福祉施設	22		